

報道資料

函 環 推

令和6年(2024年)11月28日

報道機関各位

函館市環境部環境推進課長

食品ロス実態調査結果に係る報道について（依頼）

このことについて、下記のとおり、令和6年度食品ロス実態調査の結果を取りまとめましたので、取材および報道について御配慮いただきませうよろしくお願いたします。

記

1 実施日

令和6年(2024年)9月26日(木)

2 実施場所

函館市金堀町1番6号 函館市環境部旧車両整備作業場

3 調査概要・結果等

「令和6年度食品ロス実態調査の結果概要」のとおり

（環境部環境推進課
担当 高橋，野口
TEL 85-8236）

令和6年度食品ロス実態調査の結果概要

1 業 務 名

食品ロス実態調査

2 調査対象物

ごみ組成分析調査対象物である「燃やせるごみ」試料中の食品廃棄物等(厨芥類)

3 実 施 日

令和6年(2024年)9月26日(木)

4 実施場所

函館市環境部旧車両整備作業場(函館市金堀町1番6号)

5 調査概要

(1) 調査方法

ごみ組成分析調査における試料約200kgから分類された食品廃棄物等(厨芥類)を対象に、下記の手順により食品ロスの調査を行った。

ア 食品廃棄物等(厨芥類)を「調理くず」、「直接廃棄(手付かず食品)」、「食べ残し」、「その他」に分類し、分類項目ごとに計量。

イ このうち、「直接廃棄(手付かず食品)」については、さらに期限表示別に分類して計量。

(2) 調査分類

食品廃棄物等(厨芥類)は、以下の種類にて分類した。

	分類	概要	具体例
	①調理くず	調理過程から排出された不可食部	野菜・果物の皮、くず、芯、魚の骨・内臓、エビの殻、貝の殻、動物の骨、卵の殻、出汁用の昆布など
食品ロス	②直接廃棄(手付かず食品)	購入後全く手が付けられずに捨てられたもの	野菜、果物、卵、魚介類、肉類、パン類、菓子類、麺類、缶詰、瓶詰め、大豆製品(納豆、豆腐)、乳製品(ヨーグルト)、調味料(マヨネーズ、ソース)など
	③食べ残し	調理され、または生のまま食卓にのぼったもの	ご飯、パン、麺類、おかず、開封後の弁当、開封後の総菜など
	④その他	生ごみとともに排出され易く、上記に分類されないもの	コーヒー、茶殻、ペットフードなど

6 調査結果

本調査については、令和2年度開始以降、3度目の実施である。

本調査の結果、家庭系可燃ごみ全体に占める食品ロスの重量比については、令和4年度調査の9.65%と比較し、今回調査では10.92%と少し上昇した。

この主な要因としては、家庭系可燃ごみに占める食品廃棄物等（厨芥類）の割合が令和2年度と同様に低かった一方、食品廃棄物等（厨芥類）に占める食品ロスのうち「食べ残し」の割合が32.91%と、前回調査までと比べ上昇したことが挙げられる。

また、本調査結果から令和5年度の本市の家庭系可燃ごみ排出量を基に推計した結果、本市の食品ロス発生量は年間約4,448t、家庭系食品ロス原単位（1人1日当たり食品ロス発生量）は約50g、年間ベースでは、1人当たり約18kg、1世帯当たり約32kgとなり、前回調査と比べ、家庭系食品ロス原単位は増加する結果となった。

このほか、直接廃棄のうちの期限表示別の割合については、調査開始後初めて、賞味期限内廃棄の発生がなく、消費・賞味期限ともに期限内の廃棄がなかった。期限切れ廃棄の割合については、消費期限が少し上昇したものの、賞味期限は大幅に低下した。

今回の調査では、食品廃棄物等（厨芥類）に占める食品ロスの割合が上昇したものの、消費・賞味期限内の廃棄がなかったなど、食品ロス削減に対する市民の意識が一部向上してきていることが読み取れた。

本調査については、試料中の食品廃棄物等（厨芥類）の割合の増減などの影響も大きく、今後も定期的な調査の実施により推移を注視する必要があるが、期限切れなどによる直接廃棄や食べ残しの発生が一定程度あることから、冷蔵庫の整理整頓、適量調理、食べきり等の啓発や、家庭で余っている食品を集め、食品を必要としている方へ寄付する「フードドライブ」の促進など、今後も食品ロス削減に関する意識向上を図るため、各種取組を引き続き実施する。

7 参考

〈調査実施時の写真〉



直接廃棄



食べ残し

〈食品ロス実態調査結果および本市推計量の推移〉

区分			R 2 (割合)	R 4 (割合)	R 6 (割合)	
調査結果	可燃ごみに占める食品廃棄物等		24.53%	40.25%	25.96%	
	食品廃棄物等	食品ロス	直接廃棄	13.51%	8.64%	9.16%
			うち消費期限内	0.00%	0.00%	0.00%
			うち消費期限切れ	10.16%	7.44%	15.21%
			うち賞味期限内	21.15%	1.80%	0.00%
			うち賞味期限切れ	18.64%	29.36%	11.28%
			うち表示なし	50.05%	61.40%	73.51%
			食べ残し	22.96%	15.34%	32.91%
	合計		36.47%	23.98%	42.07%	
	調理くず		59.14%	71.65%	54.79%	
その他		4.39%	4.37%	3.14%		
可燃ごみに占める食品ロス		8.94%	9.65%	10.92%		
区分			R 2 推計	R 4 推計	R 5 推計	
			R 2 調査割合	R 4 調査割合	R 6 調査割合	
本市推計量	家庭系食品ロス発生量		4,081 t	4,202 t	4,448 t	
	うち直接廃棄		1,512 t	1,514 t	969 t	
	うち消費期限内		0 t	0 t	0 t	
	うち消費期限切れ		153 t	112 t	148 t	
	うち賞味期限内		320 t	27 t	0 t	
	うち賞味期限切れ		282 t	445 t	109 t	
	うち表示なし		757 t	930 t	712 t	
	うち食べ残し		2,569 t	2,688 t	3,479 t	
	1人1日当たり		44g/人・日	47g/人・日	50g/人・日	
	うち直接廃棄		16g/人・日	17g/人・日	11g/人・日	
	うち食べ残し		28g/人・日	30g/人・日	39g/人・日	
	年間1人当たり		16 kg	17 kg	18 kg	
	年間1世帯当たり		30 kg	30 kg	32 kg	
	家庭系可燃ごみ排出量		45,624 t	43,534 t	40,726 t	
	人口 (各実績年9月末現在)		252,647 人	245,213 人	241,184 人	
	世帯数 (各実績年9月末現在)		141,743 世帯	140,393 世帯	139,379 世帯	

※調査結果割合については、重量ベース

※調査時点において、把握している最新の年間ごみ排出量は前年度実績となることから、本市のR 5 推計量については、R 6 調査結果割合×R 5 ごみ排出量実績による仮推計である。